

# 事業評価シート解説

## 事業評価シート

015101 健康まつり推進事業

事業コード 015101 事業名: 健康まつり推進事業

### 総合計画体系 (上位の政策・施策)

政策: 笑顔あふれる 健やかなまち  
 施策: 健康づくり  
 施策の方向: 健康づくり事業の啓発

事業の本来の目的である上位の総合計画体系が表示されます。

主管部局名	健康部	主管課名	健康づくり課	会計区分	一般会計		
事業主体	市	補助単独	単独	新規・継続	継続	事業開始	昭和60年度
進捗状況	実施段階	計画期間	平成 25 年度	~	平成 30 年度		
根拠法令	座間市健康まつり実行委員会規約						
事務区分	自治事務	義務区分	非義務的経費	地域区分	市内全域		

- ・対象(何、誰を) **市民**
- ・受益者(実際に利益を受ける人) **全市民**

- ・市民参加 **C**
  - A:地域社会の主体としての市民、受益者としての市民、双方の視点からの参加がある
  - B:地域社会の主体としての市民の参加がある
  - C:受益者としての市民の参加がある
  - D:特に市民参加がない

- ・手段(市が実際に行う事業の内容)
  - ・健康まつりを通じて健康教育、健康相談指導等の実施。
  - ・医師会、歯科医師会、薬剤師会、食品衛生協会、ひまわり会など10団体により実行委員会を組織し開催。

上位の施策を実現するために、当該事業が行う目標値を3つまで設定できるようになっています。

活動指標 (手段から導かれ、事業の進捗状況を図るための指標)

活動指標名	目標値
① 参加団体数	10 団体
②	
③	

### 活動指標の年度別状況

区分	① 参加団体数			②			③		
	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値
25 (決算)	10	100.00	10	-	-	-	-	-	-
26 (予算)	10	100.00	-	-	-	-	-	-	-
27 (計画)	10	100.00	-	-	-	-	-	-	-
28 (計画)	10	100.00	-	-	-	-	-	-	-
29 (計画)	10	100.00	-	-	-	-	-	-	-
30 (計画)	10	100.00	-	-	-	-	-	-	-

上記の活動指標の5年間の年度別状況が表示されています。

それぞれの年度の目標に対して、決算では達成できたのか、また、将来はどのような目標を持って最終目標まで達しようとしているのかなど見ることが出来ます。

# 事業評価シート解説

## 事業評価シート

015101 健康まつり推進

### ・意図(どういった状態にしたいのか)

市民に対する健康意識の普及・啓発等。

### 成果指標

(意図から導かれ、事業の目的達成度を図るための指標)

成果指標名	入場者数
目標値	8000
指標式	

### 成果指標の年度別状況

区分 年度	年度別 目標値	計画目標 値に対する 割合	実績値
25(決算)	8000	100.00	5
26(予算)	8000	100.00	
27(計画)	8000	100.00	
28(計画)	8000	100.00	-
29(計画)	8000	100.00	-
30(計画)	8000	100.00	-

### ・事業実施上の検討課題

健康フェスタとは別の位置づけで事業を継続する。

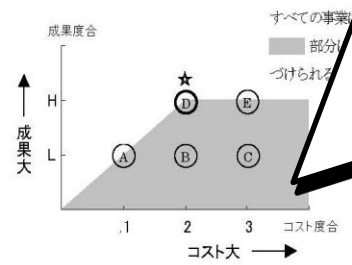
### ・備考(現状等)

座間市健康まつり実行委員会規約

### ・事業のポジショニング D (コストを現状維持=最大限にコストと成果がバランスがとれている位置付け)

### ・ポジショニングの説明・改善方策

健康フェスタとは別の位置づけとして実施を継続。「市民ふるさとまつり」と「健康まつり」との位置付けについては、市民ふるさとまつりの一環として再編が可能か否かを改めて団体及び所管課と協議する。



①:コストを増やして成果を向上 ②:コストを現状維持(理想)  
③:コストを維持して成果を向上 ④:コストを削減  
⑤:コストを削減して成果を向上 ⑥:事業を統合又は廃止

### 事業費等の年度別状況

区分 年度	事業費(千円)	所要時間	概算人件費 (千円)	概算総事業費 (千円)	受益者数	受益投資額 (円)
25(決算)	570	226	491	1,061	8,000	133
26(予算)	570	226	506	1,076	8,000	134
27(計画)	570	226	505	1,075	8,000	134
28(計画)	570	226	503	1,073	8,000	134
29(計画)	570	226	502	1,072	8,000	134
30(計画)	570	226	502	1,072	8,000	

※・概算人件費=所要時間×1時間当たりの平均人件費単価  
・概算総事業費=事業費(直接事業費)+概算人件費  
・受益投資額=受益者1人当たりの投資額=概算総事業費÷受益者数

当該事業を行うこと  
によって、どのような成  
果を得ようとしている  
のかが分かります。

左記の成果指標の5  
年間の年度別状況が表  
示されています。

各年度の目標値に対  
して、決算では達成で  
きたのか、また、将来  
はどういう目標を持っ  
ているか、などが分か  
ります。

当該事業の現時点で  
のコストと成果の関  
係を表しています。

「最小の経費(コス  
ト)で最大の効果(成  
果)をあげる」ことを目標とし、現時点での位置づけを評価することで行政の価値(成果/コスト)を高めるための方向性を明らかにします。

5年間の年度別事業費  
や事業実施に要する職員  
の延べ従事時間数、概算人  
件費、当該事業費から直接  
受益を受ける市民数、受益  
を受ける市民1人当たり  
の事業費等が確認できま  
す。決算額は、地方財政状  
況調査の金額を記載して  
います。

# 事業評価シート解説

## 事業評価シート

015101 健康まつり推進事業

### ・政策・施策評価の視点からの内部評価

事業評価 **B(7点)** 改善する必要性が低い。

この事業に対する内部評価の総合評価（平均）です。

○必要性について **C(6点)** 改善する必要がある。

- 視点1 政策の目的が市民や社会のニーズにかな(うものか)っているか  
**B(8点)** 十分ニーズに即(する)している。
- 視点2 当初の事業目的を達していないか  
**C(5点)** 一部対応していない部分もある。
- 視点3 事業目的に対して効果があがっているか  
**C(6点)** 公共性等から市が実施する方が妥当である。

○効率性について **B(7点)** 改善する必要性が低い。

- 視点1 予算や人員に見合った効果が得(られる)られているか  
**B(7点)** 十分効果がある。
- 視点2 他市と比べてコストはどうか  
**B(7点)** 十分効率的である。
- 視点3 他の類似事業と比べてコストはどうか  
**C(6点)** 取り組んでいるが多少改善の余地がある。

○有効性について **B(7点)** 改善する必要性が低い。

- 視点1 政策達成のために有効か  
**B(7点)** 高い。
- 視点2 期待された成果が得られているか  
**C(6点)** 得られている。

○公平性について **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

- 視点1 対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか  
**A(9点)** 限定されていない。
- 視点2 受益者の費用負担は適当か  
— 評価対象外

評価の視点が、事業にとってなじまないものは、対象外となります。

○優先性について **B(7点)** 改善する必要性が低い。

- 視点1 他の事業と比較して優先的に実施すべきか  
**B(7点)** 優先度が高い。
- 視点2 延伸、廃止した場合に大きな影響があるか  
**C(6点)** 無視できない影響がある。

※各視点の評価点と合計の評価点とは四捨五入の関係で不整合が生じる場合がある。

# 事業評価シート解説

## 事業評価シート

015101 健康まつり推進事業

### (内部評価詳細)

一次評価＝所管部局長の評価  
二次評価＝行政評価委員会の評価

改善性 ↓	A (10～9点)
	B (8～7点)
	C (6～5点)
	D (4～3点)
	E (2～1点)
高	

事業評価(内部): B (7点) 一次評価: B (7点) 二次評価: B (7点)

視点	内部評価	区分		一次評価 コメント	二次評価 コメント
		視点	評点		
必要性 ①施策(事業)の目的が現在の市民や社会のニーズにかなっている(た)か ②事業の対象や内容は行政需要の変化に対応している(た)か ③国、県、民間、地域との役割分担からみて市が行う必要があるか ※法令上義務は10点	C (6点)	視点①	B・8	市民まつりにおいてこの事業も定着しており、多くの市民が訪れる機会を利用し、啓発等により健康づくりへの機運を高めることは必要である。	B・8 C・C C
		視点②	D・4		
		視点③	C・6		
		平均	C・6		
効率性 ①予算や人員に見合った効果が得られている(た)か ②他市と比べてコストはどうか ③コスト(予算・人員)改善に取り組んでいる(た)か	B (7点)	視点①	B・7	限られた予算の中で、医師会を始め各種団体等の協力により事業の展開を図っている。	B B
		視点②	B・7		
		視点③	C・6		
		平均	B・7		
有効性 ①事業を実施することでの施策目標への貢献度 ②成果を向上させる余地はあるか	B (7点)	視点①	B・7	啓発の効果はできる限り機会を見つけて、継続することが重要であり、市民まつりに大勢の市民が集まる機会に実施することは効率的であり、有効である。	B・7 C・5 C・6
		視点②	C・6		
		平均	B・7		
		内部評価	区分		
公平性 ①対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか ②受益者の費用負担は適当か	A (9点)	視点①	A・9	各市民団体で構成する実行委員会による手作りのイベントで、多くの市民が訪れている。	A・9 — — A・9
		視点②	—		
		平均	A・9		
		内部評価	区分		
優先性 ①施策内の他の事業と比較して優先的に実施すべきか ②延伸、廃止した場合に市民の生命・身体及び財産に影響があるか	B (7点)	視点①	B・7	市民に定着しており、引き続き実施する。	B・7 C・6 B
		視点②	C・6		
		平均	C・7		
		内部評価	区分		

必要性、効率性、有効性、公平性、優先性について10点満点で評価をします。  
点数が低いほど、改善の必要性が高くなります。

12種類の視点について評価したものを平均したものです。

担当部局室長がそれぞれの視点でのコメントを記載しています。

二次評価コメント  
市民まつりとともに市民に定着してきている。実行委員会、医師会等の各種団体と連携し、低コストで効率的な健康意識の啓発を継続する必要がある。

行政評価委員会が当該事業の課題や方向などをコメントしています。